

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 23 年 7 月 21 日 (2011.7.21)

【公表番号】特表 2010-530014 (P2010-530014A)

【公表日】平成 22 年 9 月 2 日 (2010.9.2)

【年通号数】公開・登録公報 2010-035

【出願番号】特願 2010-511318 (P2010-511318)

【国際特許分類】

C 0 8 F 20/24 (2006.01)

C 0 9 D 133/14 (2006.01)

C 0 9 D 143/02 (2006.01)

C 0 9 D 5/02 (2006.01)

C 0 8 F 220/38 (2006.01)

C 0 8 F 230/02 (2006.01)

B 3 2 B 15/082 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 F 20/24

C 0 9 D 133/14

C 0 9 D 143/02

C 0 9 D 5/02

C 0 8 F 220/38

C 0 8 F 230/02

B 3 2 B 15/08 1 0 2 B

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 6 月 3 日 (2011.6.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

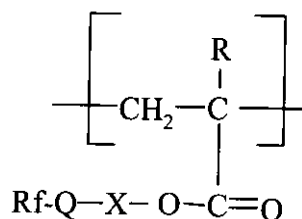
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

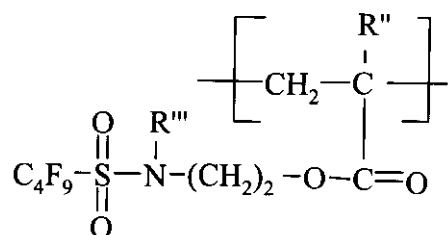
式

【化 1】

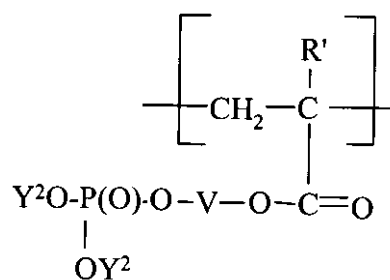


により表される少なくとも 1 個の第 1 の二価単位；並びに  
 ペンダント Z 基を含む第 2 の二価単位、又はチオエーテル結合及び少なくとも 1 個の末端 Z 基を含む一価単位、のうち少なくとも 1 種  
 を含む組成物であって、  
 各 Z 基が独立して

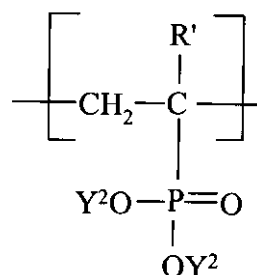
【化 2】



【化 3】



又は



- S - C<sub>t</sub> H<sub>2 t + 1</sub> 及び - S - C<sub>r</sub> H<sub>2 r</sub> - A からなる群から選択される一価単位、又は

-  $\text{S}-\text{C}_b\text{H}_{2b}\text{OC}(\text{O})\text{C}_b\text{H}_{2b}-\text{P}(\text{O})(\text{OY}^2)_2$  及び  
 -  $\text{S}-\text{C}_b\text{H}_{2b-1}[\text{OC}(\text{O})\text{C}_b\text{H}_{2b}-\text{P}(\text{O})(\text{OY}^2)_2]_2$  からなる群  
 から選択される式により表される一価単位、  
 のうち少なくとも 1 種

(式中、

$\text{R}'$ 、 $\text{R}''$  及び  $\text{R}'''$  は、それぞれ独立して水素又は 1 ~ 4 個の炭素原子を有するアルキルであり、

$\text{V}$  は、所望により少なくとも 1 個のエーテル結合又はアミン結合により中断されるアルキレンであり、

$t$  は、4 ~ 22 の値を有する整数であり、

$r$  は、2 ~ 10 の値を有する整数であり、

$\text{A}$  は、 $-\text{OH}$ 、 $-\text{COOY}^2$ 、及び  $-\text{SO}_3\text{Y}^2$  からなる群から選択され、

各  $\text{Y}^2$  は、独立して水素、アルキル、及び対カチオンからなる群から選択され、

各  $b$  は、独立して 1 ~ 5 の整数である)、

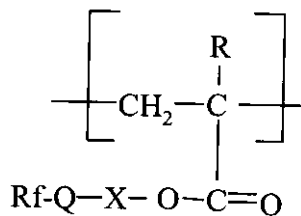
を含む組成物。

【請求項 3】

表面を有する物品であって、前記表面の少なくとも一部が組成物と接触し、

前記組成物が、式

【化 4】



により表される少なくとも 1 個の第 1 の二価単位、並びに、

ペンダント  $\text{Z}^1$  基を含む第 2 の二価単位、又はチオエーテル結合及び少なくとも 1 個の末端  $\text{Z}^1$  基を含む一価単位、のうち少なくとも 1 種

を含み、

各  $\text{Z}^1$  基が独立して

-  $\text{P}(\text{O})(\text{OY}^1)_2$  及び -  $\text{O}-\text{P}(\text{O})(\text{OY}^1)_2$

からなる群から選択され、

式中、

各  $\text{Rf}$  は、独立してペルフルオロポリエーテル基であり、

各  $\text{Q}$  は、独立して、結合、 $-\text{C}(\text{O})-\text{N}(\text{R}^1)-$ 、及び  $-\text{C}(\text{O})-\text{O}-$  からなる群から選択され、

$\text{R}$  及び  $\text{R}^1$  は、それぞれ独立して、水素及び 1 ~ 4 個の炭素原子を有するアルキルからなる群から選択され、

各  $\text{X}$  は、独立して、アルキレン、アリールアルキレン、及びアルキルアリーレンからなる群から選択され、アルキレン、アリールアルキレン、及びアルキルアリーレンがそれぞれ所望により少なくとも 1 個のエーテル結合により中断され、

各  $\text{Y}^1$  は、独立して水素、アルキル、対カチオン、及び前記表面への結合からなる群から選択される、

物品。